

新川こども屋内レクリエーション施設の 整備に関する検討について

令和2年7月10日
富山県

1 地元市及び新川地域からの要望

【要望項目】

人と文化の交流拠点であり、新川地域における県基幹施設である新川文化ホールの敷地を活用した、子どもをはじめとする新川地域の住民など幅広い県民が雨天等においても利用できる屋内型遊び場の整備

H29.6魚津市アンケート調査(園児の保護者等928人から回答)

・遊び場必要(94%)、求める設備(アスレチック、800人)、有料でも遊具増設希望(46%)

H30.11魚津市アンケート調査(園児の保護者等1425人から回答)

・市内にある屋内で親子が一緒に遊ぶ場の満足度(満足していない→未就園児39.3%、通園児44.4%)

・遊び場で重視すること(体を使って遊ぶ遊具738人、日曜・祝日も利用可717人、十分な広さ695人)

① 魚津市要望 (R2. 1. 30)

- ・新川文化ホールは、今後、人口減少の進行に伴う利用者の減等が懸念
- ・当ホールは、新川地域の県基幹施設として、文化振興のみならず、県民・地域住民の多様なニーズにも対応できるような施設機能の拡充が必要
- ・市の子育て家庭のニーズ調査や市民意識調査の結果において、多くの若い子育て世代の市民から、雨天等でも子どもたちが利用できる屋内型遊び場の建設を望む声が聞かれる。
- ・こうした施設整備により、子どもとともに訪れる父母や祖父母の運動習慣づくりや健康意識の向上にも資することが期待される。

「新川地域推進協議会」(会長:鹿熊県議)

・新川2市2町(魚津市、黒部市、入善町、朝日町)の市長、町長、各議会の議長、各市町の県議14人で構成。

・新川地域の共通する諸課題を協議し、県等に必要な要望・提言をし、課題解決と新川地域の発展を図ることを目的

② 新川地域推進協議会要望 (R2. 2. 7)

- ・新川2市2町においても、人口減少とともに急速な少子化が進んでおり、子どもの健やかな育ちと子育てを支援するため、少子化対策を推進
 - ・多くの若い世代から屋内型遊び場の建設を望む声が聞かれる。また、その施設の建設により、子どもの父母や祖父母も共に楽しめ、生きがいや健康づくりにも資することが期待される。
- ※「アミューズメント施設やテーマパーク等の屋内型遊び場の整備」との言及あり

2 子育て支援に関する調査や議論等

① 令和元年度「結婚等に関する県民意識調査」結果

<調査の概要>

- (1) 調査対象 県内在住の20代から30代の男女2,000人
- (2) 調査期間 令和元年6月21日～7月5日
- (3) 調査方法 郵送返送方式およびWebによる調査
- (4) 回収状況 標本数2,000人、回収数669人、回収率33.5%

「子育てに優しい社会」に必要なことに関する自由回答

	自由回答の内容	回答数	うち	
			女性	男性
①	環境整備（遊び場等）	75	54	21
②	環境整備（男性トイレのベビーカー等）	32	27	5
③	環境整備（ハードその他）	27	24	3
④	経済的支援	47	25	22
⑤	働き方改革・職場気運醸成	33	21	12
⑥	母親への精神面の支援	22	17	5
⑦	保育の充実（病児・一時預かり等）	11	11	0
⑧	子育て等に温かい社会づくり	14	13	1
⑨	学童保育	9	9	0
⑩	その他	14	8	6
	計	284	209	75

回答の内容を詳細に分析してみると、

- ・ **遊び場の充実（屋内）** 45件
- ・ 遊び場の充実（屋外〔公園等〕） 20件
- ・ その他遊び場の情報提供など 10件

（主な意見）

- ・ 雨の日に体を動かせる場所（室内）が少ない
- ・ 雨や雪の日に、特に土・日でも遊べる場が必要
- ・ 冬もそうだが、夏も暑くて外で遊べないので、室内で涼しく遊べる場所を望む
- ・ 子どもが退屈しない室内の遊び場（スポーツ施設や室内アスレチックなど）を充実してほしい
- ・ ショッピングセンターや子どもの遊び場は、呉西地区にかなり集中し、呉東地区・新川地区は衰退
- ・ 減少していくばかり。若い世代が減っていく
- ・ 十分な駐車スペースのある遊び場が必要

2 子育て支援に関する調査や議論等

② 富山県子育て支援・少子化対策県民会議 第3回基本計画策定部会（R2.1.31）

<部会における検討結果(最終報告(抄))>

※「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会づくり」に関して

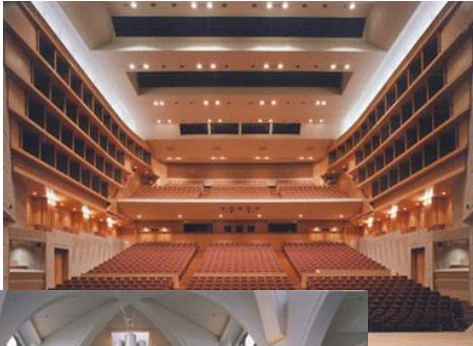
◎ 雨や雪が多い本県における子育てを応援するため、室内の遊び場などの整備・充実を図ること

<部会における主な意見(抜粋)>

※「子育てに温かい社会づくり」に関して

- 園児を見ていると、遊び方や転び方が下手。運動能力が低下している。転んだとき手をつけずに歯をぶつける、手をつけば骨が折れるといった事例が多い。遊びの場がない弊害と感じる。特に、富山県は雨や雪の日が多く、室内で子どもが遊べる場所が少ない。公設の場所など、いつでもどこに行っても遊べる場所があって、父親と思いきり遊べる地域環境づくりが大事。
- 祖父母世代から、平日子育て支援センターなど遊ばせる場所はあるが、土日に子どもを連れて遊びに行ける室内施設は、こどもみらい館しかないと言われる。(略)大型ショッピングセンターのキッズコーナーでは、たくさんの子供が大きな音の中で遊んでいる。その周りを親や祖父母が見ている。この状況には疑問を感じる。県内に子どもたちが室内でのびのび遊べる遊び場が、等間隔であるとよい。
- 子どもの遊び場はぜひ整備してほしい。

3 新川文化ホールについて(施設概要)



<施設概要>

- (1) 開館 平成6年(1994年)11月1日
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造、地上4階・地下2階
敷地面積 $73,024\text{m}^2$ (県民会館 $8,413\text{m}^2$ 、高岡文化ホール $18,361\text{m}^2$)
建築面積 $8,230\text{m}^2$
延床面積 $12,787\text{m}^2$
- (3) 建設費 約7.8億円
- (4) 設置者 富山県・魚津市(共同設置)
- (5) 運営 (公財)富山県文化振興財団 ※指定管理者
- (6) 施設内容
 - ① 大ホール 1,186席 (音楽を主体とした多目的ホール)
 - ② 小ホール 297席 (演劇を主体とした多目的ホール)
 - ③ リハーサル室 249m^2
 - ④ 練習室 3室 (51m^2 、 48m^2 、 59m^2)
 - ⑤ 音楽室 2室 ($23\text{m}^2 \times 2$)
 - ⑥ 展示ホール 703m^2 (5分割可)
 - ⑦ 会議室 7室 (18席 \times 3、24席、45席、81席、84席)
 - ⑧ 和室 3室 (8畳、10畳、50畳)
 - ⑨ 常設展示室 1室
 - ⑩ その他 (クリスタルガーデン、イベント広場、カフェ・軽食等)
- (7) 駐車場 約700台(無料)

県立施設の中でも広大な敷地

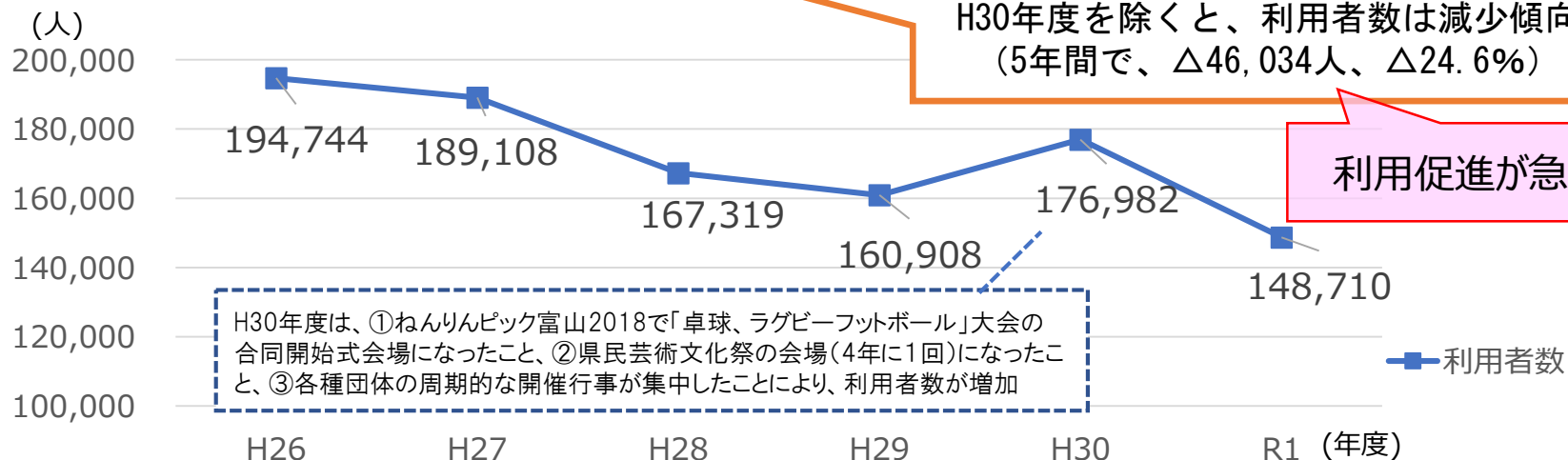
3 新川文化ホールについて(利用状況)

① 新川文化ホールにおける主なソフト事業（令和元年度）

・地元、新川地域の方に密着
・音楽関係のイベントが多数

- | | |
|------------|---|
| (1) 鑑賞事業 | ミュージカル公演 (2,306人)、NHK公開収録 (891人)、
人気シンガーライブ (1,117人)、宝くじ普及啓発劇場 (913人) 等 |
| (2) 参加事業 | 新川地域吹奏楽団体成果発表 (1,365人)、文化教室成果発表 (993人)
マーチングバンドフェスティバル (850人)、新川地域コーラスフェスティバル (827人) 等 |
| (3) 普及育成事業 | 全国吹奏楽コンクール受賞上位校特別公演 (2,054人)、土曜コンサート (842人)
魚津市内小・中学生舞台芸術鑑賞会 (小学生679人、中学生403人) 等 |
| (4) 展示事業 | 魚津市民文化祭 (4,471人)、県東部いけばな展 (2,844人)
魚津市内園児作品発表・創作体験 (1,798人)、魚津市美術展 (1,301人) 等 |
| (5) 自主事業 | 映画上映会 (481人) |

② 新川文化ホールの利用者数の推移



4 新川こども屋内レクリエーション施設の整備に向けた検討

(1) コンセプトの基本的な方向性と視点

※『非認知能力』とは、
好奇心、自発性・自立性、粘り強さ、
挑戦する気持ち、やり遂げる力等

- ① 雨天や降雪時、酷暑などでも快適に利用できる**屋内型の施設**
- ② 「遊び」を通じて、こどもの『**非認知能力の形成**』や『**基礎的な運動能力等の開発・向上**』につながるもの（こどもの能力を多面的に引き出すもの）
- ③ 音楽等の文化事業など**既存の新川文化ホールとハード、ソフト面で連携**
- ④ こどもに同伴する**父母や祖父母の方も楽しめ、子育て機能**を備えたもの
- ⑤ 新川地域の方を中心に、県内外から利用される**先進性、独自性**のある施設

◎施設のメインターゲット
⇒ 幼児～小学生 を想定

◎幼児教育の重要性(H28.11中教審答申(抄))

- ・「忍耐力や自己制御、自尊心といった社会情動的スキルやいわゆる非認知能力といったものを幼児期に身に付けることで、大人になってからの生活に大きな差を生じさせる(略)」
- ・幼児期における語彙数、多様な運動経験などがその後の学力、運動能力に大きな影響を与える(略)」

◎非認知能力と学力に関する研究(H30.3お茶の水女子大学(抄))

- ・「非認知スキル」とSES(Socio-Economic Status:家庭の所得、父母の学歴)の間には、ほとんど相関がみられない
- ⇒ SESの高低にかかわらず「非認知スキル」を高めることができれば、学力を一定程度押し上げる可能性がある。

4 新川こども屋内レクリエーション施設の整備に向けた検討

(2) コンセプトを実現するための機能や設備・遊具など

検討のたたき台

コンセプト	機能	設備・遊具など
①雨天や降雪時、酷暑などでも快適に利用できる屋内型の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面・衛生面(換気等)に配慮したもの ・メンテナンス・ランニングコストが抑えられるもの(建物は簡素なもの、中身を充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間に余裕のあるつくりの建物 ×ボールプール、砂場 ×すぐに陳腐化するもの
②「遊び」を通じて、こどもの『非認知能力の形成』や『基礎的な運動能力等の開発・向上』につながるもの(こどもの能力を多面的に引き出すもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び方を自ら発見できるもの(遊び方が単一でないもの、人との係わり合いにより遊び・動きが変わるもの) ・五感をフルに活用できるもの ・年齢や能力に応じ挑戦できるレベルが変わり、自分の成長を感じられるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○ネット遊具 ○ボルダリング ○ふわふわドーム ○県産材を使用したもの <p style="text-align: right;">} など</p>
③音楽等の文化事業など既存の新川文化ホールとハード、ソフト面で連携	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化イベント時にも利用しやすい動線 ・既存施設で体験・工作教室などを実施し、体を使った遊びを新しい施設で体験するなど、相互の施設で連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びと音を組み合わせた遊具 ○既存の文化ホールの建物と物理的に接続し、往来しやすいつくり
④こどもに同伴する父母や祖父母の方も楽しめ、子育て機能を備えたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層ごとにゾーニングした遊びや休憩などのスペースの確保 ・可搬的な機能をもつ自由スペースの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ○空間・スペースを有効に活用できる複数の遊具を組合せ ○休憩しながら見守り・観覧ができ、また簡単な運動もできるスペース
⑤新川地域の方を中心に、県内外から利用される先進性、独自性のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・新川地域ならではのテーマを設定(立山黒部や立山連峰などの自然、音楽との融合など) ・児童館や公園・運動場とは違うシンボリック機能 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設を象徴する大型遊具(飽きないもの) ○デジタル技術を活用した映像と運動の組合せなど

4 新川こども屋内レクリエーション施設の整備に向けた検討

(3) 整備場所

◎施設の面積 ⇒ 高校の体育館 程度を想定

- ①広いスペースがあり、自由度が高い(整形地)
 - ②既存施設との連携がしやすい(距離が近い)
 - ③駐車場からの安全な動線が確保しやすい
- これらのことを考えると、整備場所としては、「イベント広場北側（ホール建物と角川の芝生広場部分）」が候補地として考えられる。

斜線で囲まれた部分は、特に軟弱地盤
(支持層が50mより深い) ※中央部へ行くほど深い

ただし、今後実施予定の地盤調査の結果や新型コロナ等の状況によるところが大きい

(4) 整備スケジュール

2023(R5)年度 春～夏頃のオープンを目指す

(5) その他

検討会の予定

第2回：9月上旬頃

第3回：11～12月頃

新川地域の子どもの親世代を対象に「施設の機能、設備等に関するアンケート調査」を実施しており、そのとりまとめ結果を報告予定

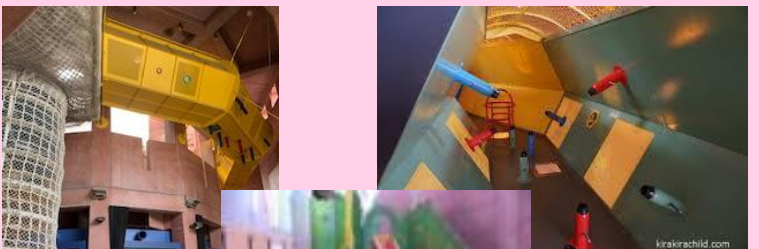


參考資料

<県内における参考施設>

富山県こどもみらい館

平成4年7月開館
延床面積 4,014㎡



魚津市周辺の主な屋内こども向け施設

滑川市児童館

平成28年4月開館
延床面積 920.6㎡



入善町屋内多目的施設（R3年度完成予定）

中央広場・周辺整備
敷地面積：7,600 平方メートル
施設内容：周遊できる園路
完成予定：令和3年度

テニスコート
敷地面積：5,000 平方メートル
施設内容：砂入り人工芝コート5面分
完成予定：令和2年度

屋内多目的施設・こどもの国
敷地面積：2,000 平方メートル
施設内容：人工芝の多目的広場
小さい子ども用の遊び場
完成予定：令和3年度

子育て広場・親水広場
敷地面積：900 平方メートル
施設内容：水遊び設備、幼児用遊具
完成予定：令和3年度

ふれあい広場
敷地面積：8,500 平方メートル
施設内容：子ども向け遊具、健康遊具
完成予定：令和3年度



完成イメージ図

〈県内外における参考施設〉



ふわふわドーム・ネットアスレチック・ボルダリング(氷見市海浜植物園: 富山県氷見市)



ふわふわドーム(高岡おとぎの森: 富山県高岡市)



ボルタリング、すべり台(新潟市こども創造センター: 新潟県新潟市)



ネット遊具(ギャラクシティ: 東京都足立区)



ボールプール(ふくふく子ども館: 山口県下関市)



ネット等各種遊具(かがにここパーク: 石川県加賀市)



県が目指す施策の方向性(1)

I 元氣とやま創造計画 (H30.11) (目標年次：2026年度 (R8年度))

基本政策	未来とやま
展開目標 1	結婚・出産・子育ての願いが叶う環境づくり ～県民希望出生率1.9へ～
未来 2	保育サービスの拡充など積極的な子育て支援等の展開
政策目標	家庭や地域において、安心して子どもを産み育てられる環境が整備されるとともに、社会全体で子育てを支える気運の醸成が図られていること。

II 第2期とやま未来創生戦略 (R2.3) (計画期間：概ね5年間 (R2年度～R6年度)

基本目標 1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備 ～人口減に歯止めをかける～
数値目標 県民希望出生率「1.9」を目指す [基準(H30)] 1.52 → [R6] 引き上げる

1. 結婚から子育てまで切れ目ない支援による少子化対策の推進

(ア) 結婚・妊娠・出産支援

③妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備

・新川文化ホール敷地内での子どもが楽しめる屋内型レクリエーション施設整備や、子育て支援の観点にも立った県立都市公園の魅力向上策の検討

「新川地域における具体的施策の推進」においても言及

I 元氣とやま創造計画 (H30.11) (目標年次：2026年度 (R8年度))

基本政策	未来とやま
展開目標 3	文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進
未来 1 5	県民が芸術文化と出会い、親しむ環境づくり
政策目標	県民一人ひとりが幅広く芸術文化活動と出会い、親しむ環境の整備により、優れた文化を鑑賞する機会などの充実が図られるとともに、県民自らが誇りとなる文化を知り、発信されていること。
主な施策	県民ニーズに対応した施設・設備等の機能の充実や計画的な修繕の実施による県立文化施設の利用・鑑賞環境の整備

県が目指す施策の方向性(2)

I 元氣とやま創造計画（H30.11）（目標年次：2026年度（R8年度））

基本政策	未来とやま
展開目標 3	文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進
未来 1 8	スポーツに親しむ環境づくりの推進
政策目標	県民の誰もが、それぞれの興味、関心、適性等に応じて、スポーツを「する、みる、支える」活動に参画し、主体的にスポーツを楽しんでいること。
主な施策	<u>子どもや若者、高齢者、障害者など幅広い県民が楽しめる文化スポーツ施設の整備によるスポーツ環境の充実</u>

I 元氣とやま創造計画（H30.11）（目標年次：2026年度（R8年度））

重要政策	人づくり
テーマ 1	富山県や日本を担う子どもの育成
人づくり 1	優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った子どもの育成
政策目標	未就学児から中学生までの子どもが、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力などの優れた知性を持ち、望ましい生活習慣や規範意識、公共心、感謝や思いやりなどの豊かな心を育むとともに、たくましく生きるための体力を身につけること。
主な施策	<ul style="list-style-type: none">・ <u>知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、個性を活かし多様な人々と協働を促す教育の充実</u>・ <u>幼稚園・学校が家庭や地域と連携した元氣っ子育成計画やみんなでチャレンジ3015の継続による運動習慣の定着と体力向上</u>

人づくり 2	チャレンジ精神あふれる、困難にくじけない子どもの育成
政策目標	将来の夢や目標をしっかりと持って、困難にくじけず力強く未来を切り拓いていく、チャレンジ精神あふれる子どもが育っていること。
主な施策	<ul style="list-style-type: none">・ <u>生涯にわたって自ら学び、考え、行動する力や豊かな人間関係をつくるためのコミュニケーション能力を持った人材の育成</u>